

フィラリア血液健康検査 今年も3月2日より始まりました！

ワンちゃんの子防シーズンとなりました。大事なことは

ノミ・マダニ予防 3月から12月（または通年）
フィラリア予防 5月から12月（春に血液検査が必要）

ということです。

フィラリア予防は事前の血液検査が必要です。これは投薬の安全確認作業なのですが、ワンちゃんのための血液健康診断の機会としても最適なんです。

犬猫はヒトの4,5倍のスピードで時間が流れていますので、健康診断としての血液検査は1年に1回、5歳以上は1年に2回が推奨されています。

検査をうけるとわかること

検査項目は、ヒトの健康診断の項目と似ています。スクリーニング検査とって、病気がありそうか？を想像するための基本項目となっています。具体的には、血球検査で貧血、白血球数などの変化、血液化学検査で肝臓、腎臓などの内臓の変化や、タンパク、脂質、血糖値、電解質（ミネラル）など体の代謝バランスの変化がわかります。

・若い子の場合、どちらかという病気は少ないので、その子の体質や食事の相性などを理解する材料になります。普段の食事やおやつの偏りがあらわになったりすることもあり、こういうのを若いうちにわかっておいてよかった、という事例がいくつもあります。

・中高年の場合は、メタボなどに代表されますが、気づかぬうちに治療が必要になっていることがよくあります。老齢性変化のこともありますし、生活習慣病である場合もあります。高齢動物の場合は特に、病気の治療が必要なのは早めに対応しないと重症化してしまうこともあるので、この時期の血液検査は是非有効に利用してほしいと思っています。

そして、もしも何かみつかったら、

どういことがいい事なのか？

を一緒に考えてあげたいので相談してくださいね！



ひびき動物病院 かわらばん 2021年3月 第67号



ゆうメール



今月のルーシー(絵:小田島さん)

こんにちは。岡田響です。

緊急事態宣言がまた延長されてしまいました。みなさんいかがお過ごしでしょうか？そろそろどっか行きたいな～なんて思いますよね。暖かくなってきたのもあるし、お散歩日和になってきましたね。

わんちゃんのおうちの方へお知らせです。

今年は横浜市の外狂犬病集合注射がなくなりました。市内のわんちゃんには今年もみんな動物病院で受けてください、という方針です。

狂犬病予防法という法律があって、これを元に本来は4月から6月の間に、年に1度狂犬病予防注射を受けてください、ということになっています。

今年はコロナの特例として、この時期以外に注射を受けることが許される通知が来ています。そうはいっても結局は年に1回打たなくてはいけないので、この時期に普通に注射出来る子はいつも通りがいいと思います。狂犬病に関していえば、予防注射が普及してきたことが貢献して、日本にはほぼ病気がない状態になっています。狂犬病のない国、っていうのは全世界に何か国、くらいしかありません。とてもすごいこと。これを維持していくにはみんなで継続していく必要があります。

ヒトの新型コロナウイルスのワクチンも早く効くようになるといいですね。個人的にははじめのうちは慎重派です。でも、狂犬病のように、以前あった病気がコントロールできる、というようになって欲しいですね。

狂犬病予防注射の際は事前予約いただき、役所から届く用紙をお持ちください。混み合う時期となりますので、狂犬病やフィラリアなど予防関連はなるべく前日までのご予約をいただけると助かります。30分毎の予約時間枠としていますので、ご希望の時間帯をお伝えください。

わんちゃんの体調の悪い時は、無理をせず、別の日にしてあげましょう。予約の変更は可能ですので、その場合はお電話ください。

*いつもと違うな？と感じたら、翌日までにご連絡ください。

ひびき動物病院 TEL045-832-0390

〒235-0045 横浜市磯子区洋光台6-2-17-102

午前9～12時 午後4～7時 受付30分前まで 予約制



ブログ

野毛山動物園に行ってきました

2月のお休みの日に動物園に行ってきました。

数年ぶり？だったかもしれません。

動物園動物は展示動物というカテゴリーなんですが、その展示方法は

形態展示

生態展示

行動展示

という分類があります。北海道の旭山動物園が「行動展示」を生み出し、ブレイクしたのがまだ記憶に新しいところです。

横浜にある動物園は、この行動展示ではないと思うのですが、それなのに来場者数が多い、日本を代表する動物園なんですよ！

来場者数で言うと、歴史の古い上野動物園、愛知の東山動物園が1番2番、ズーラシアと野毛山はその次！、という順番なんです。

でも、逆に、行動展示を取り入れている動物園、他にも出てきていると思いますが、それがあれば流行っているのでしょうか？

野毛山動物園は古くてなんだか頼りない感じになっている気もしてしまうのですが、行ってみるといつもいつもヒトが結構います。なんでなんだろう？って思いませんか？？日本で4番目の人気がある動物園！

是非行ってみて何か感じてみて下さいね。

横浜が40年以上の私にはお気に入りの場所の一つですが、みなさんはいかがですか？

ちなみに金沢動物園も好きな場所です。

ズーラシアはまだ1回しか行ったことがありません。

皆さんのお気に入りは何の動物園ですか？

動物園のどんなところが好きですか？



ヌルヌルが解決！

ペットのご飯のうつわ、ヌルヌルが気になる時がありませんか？

私の中では阪神大震災のボランティアに行った時のヌルヌルを一番に思い出してしまうのですが、とてもたくさんの動物用食器を扱うところで食器洗浄をしていると、どれだけ頑張ってもヌルヌルがとれませんでした。

最近奈津子先生が、

「これで洗ったらすごいよ！」というので

「ふーん」と返事していただけでしたが、

最近ヌルヌルに再び出会い、試してみると、

「お～！」という経験をしました！

洗剤もつけないメラミンスポンジが何もなかったかのように

ヌルヌルを除去したのでした・・・

いつもキレイにしてくれていたのも分かりました。奈津子先生ありがとう。

春は肝の養生

最近参加した中医学セミナーで取り上げられた話題です。

黄帝内経という中医学の代表的な資料には

「この季節には、少し遅く寝て少し早く起き、楽な格好で外にでてゆったりと歩き、体をのびやかにし、春に芽生えた万物と同じように、心身ともに生き活きと活動的な気持ち、あるいは活動するのがいい。これが春の季節に調和した養生法。もし、養生法に逆うって活動しなくて気持ちが沈んだままだと、五行による春に相当する肝を傷害し、夏になっても汗をかかず寒性の病（冷え症）にかかりやすくなる」とあるそうです。

中医学的に肝というのは体全体の気の流れをコントロールし、血液を貯蔵したり、体に巡る血液を調整するところ、と言われます。

（中医学の五臓は、西洋医学の肝臓とは異なる概念があります）

ペットのための養生を実践するには

- ・散歩や日光浴を意欲的に増やす。温かくめぐり良い体に調節していく。
 - ・連動する事で巡りが回復するので、体を動かす遊びを増やす。
 - ・引越、進学、就職などヒトの変化が多い時期なので、家庭の変化にペットが反応していないか見てあげる
 - ・怒りっぽいヒトのそばに一緒にいさせない など、
- ストレスなく、のびのびしながら、適度な連動をして体を暖かい季節に順応させていくことが大事！
- ということでした。

私は花粉症なので、外へのお散歩はヒトが大変です、って質問してみたら花粉症対策は肝ではなく脾と肺の対策、ということで、普段から疲れないように対策、睡眠をしっかりしつつ、冷たいものや甘いもの、脂っこいものを食べ過ぎないで！お腹を守るのも大事というのを教えてもらいました。

最近、ガジュマルを育て始めました。
お刺植物を育てるのがないので
すぐに枯れないようにしたいです。
割と大きくなるみたいなので、
頑張るぞ育たいと思います！

小田島



待ちあい室に自己紹介カードを貼って
みました！私が撮った写真も少し
載っているのは是非見てください！
小田島さんに描いてもらった似顔絵も
可愛くてお気に入りです😊

片倉

